

2020年(令和2年) 6月 23日 (火曜日)

## 賞九州建築 お倉が浜 kidsクリニック 19年度 一般建築部門で受賞 日向

日向市財光寺のお倉が浜 kidsクリニック(鈴木章平院長)が、日本建築学会九州支部の2019年度第13回「建築

九州賞(一般建築部門)に選ばれた。県内では、第1回にJRR日向市駅が受賞して以来という。建築九州賞は、九州の

建築水準の発展や学会と地域社会の交流を図ることを目的に2007年度に同支部と同沖繩支部が共催で創設。今回は住宅

35、一般建築48の計83作品の応募があった。

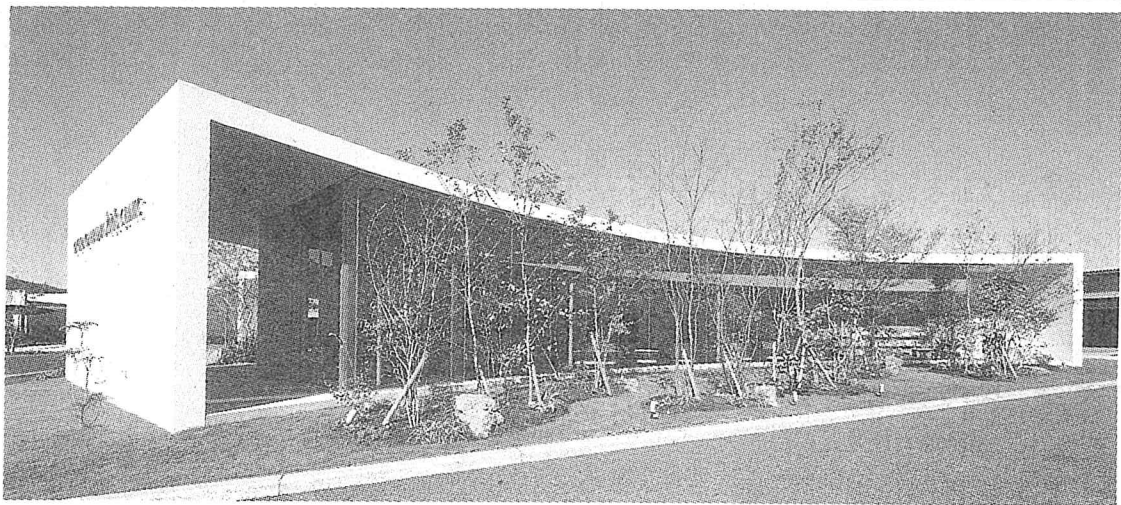
同クリニックの設計を手がけたのは、松山建築設計室(建築家・松山将勝代表、福岡県)。書類選考後、設計者のプレゼンテーションと審査員の質疑応答による2次審査を

経て、住宅4、一般建築9作品を選定。現地視察などの最終審査を行い、表彰作品を決定した。

場所性と環境を反映した建築提案や時代性を踏まえた企画力、技術力、地域貢献などが評価されたという。

同クリニックは過去にも、18年度第7回日向市景観賞(建築部門)、19年キッズデザイン賞(主催キッズデザイン協議会)も受賞している。

鈴木院長は「当院がこのような賞で評価いただいたことに大変うれしく思います。私自身は建築や設計とは無縁ですが、建物が美しい街の景観の一部として、末永く地元の皆さまに親しんでいただければ幸いです」と話した。



建築九州賞を受賞したお倉が浜 kidsクリニック(提供写真)